

*Adventist*

中  
学  
校  
高  
等  
学  
校

# 広島三育学院





「天が落ちかかろうとも正しいことのために立つ人」  
(エレン・G・ホワイト著 教育より)

これは広島三育学院が育成しようとする人物像であります。自分の選ぶ行動が、たとえ自分の益にならなかつたとしても、互いに愛し合うという聖書の真理に基づいて揺るがない信念を持つ、そのような人を育てることに大いなる使命を感じております。

人は元々なるべく自由に、自分にとって心地よい生活をおくりたいと願うものではないでしょうか。その願いをかなえるため努力をするということは大切で決して悪いことではありません。しかしそれを達成するために現代社会は人に、より効率的であることを求める傾向にあります。しかし、全て無駄と思えることを削除し、己の道を突き進むことだけを優先する時に、私達は人として大切な「何か」を捨てることになってはいないでしょうか。

広島三育学院での生活は様々な活動で溢れています。クラスで

の勉強はもちろんのこと、静かに心を整えたい存在に己を向ける祈りと礼拝、額に汗し共に学校を支えるための労作活動、仲間と苦楽を分かち合い切磋琢磨する寮生活、充実した音楽活動やボランティア活動等、学力向上だけを求めるのであれば効率的でないと思われることも大事なしているのです。

これらの活動を通じそれに参ずる生徒達は、バランスのとれた感性、正しい物事のとらえ方、健全な肉体等、これからの社会生活に必要な重要なスキルを身につけることができるのです。そして、人生の様々な場面において、何があるとしても、正しく人のためになる選びができる人物として影響力を発揮することができるようになるのです。広島三育学院はそのような人物を育成するために共に祈り、学び、働く学校です。

(校長・田淵裕)

「世界で最も欠乏しているものは人物である。それは、売買されない人、魂の奥底から真実で、正直な人、罪を罪とよぶのに恐れない人、磁石の針が南北を指示して変わらないように、良心が義務に忠実な人、天が落ちかかろうとも正しいことのために立つ人、—— そういう人である。」

エレン・G・ホワイト著 『教育』 より

広島三育学院中学校・高等学校

### 校内 In the School

#### ●自然に包まれた教育環境

三原市大和町の豊かな自然に囲まれた、静かな環境の中に学校があります。都会の喧騒から離れ、生徒は穏やかな心を持ちながら、勉強に集中し、学校生活を謳歌しています



### アラカルト a la carte

●毎朝元気に登校  
食堂で朝食を済ませた生徒たちは寮で登校準備をし、中学生は制服で、高校生は私服で登校します。7時50分までに登校、授業は8時10分からと早い!!



#### ●先生と仲がいい

全寮制では、先生方が頼れるお母さんやお父さん、お姉さんやお兄さん代わりになります。生徒と先生の距離が近いのは、三育の自慢の一つです



#### ●先生は美容師

原宿で美容師をしていた樋口寛之先生は、生徒の髪をカットします。イケメン&腕前で、女子生徒の予約が殺到です



#### ●電子黒板

三育中高では、タブレットや電子黒板など、ICTを活用した新しい学習環境を積極的に整えています。「授業がよく分かる」「授業が楽しい」と、生徒に好評です



#### ●準備や片付けは生徒の手で

3食の食事の前後に、炊事担当(労作)の生徒が配膳準備や皿洗いや掃除をします。笑顔でがんばっている姿が素敵だよ!



#### ●休み時間も充実

売店でアイスやお菓子を買う人、スケボーを楽しむ人、ピアノ伴奏で讃美歌を歌う人...。生徒たちは、長い昼休みを思い思いに



#### ●中高男女4つの寮

校内には中学生用(男子/飛翔寮、女子/オリブ寮)、高校生用(男子/同袍寮、女子/スマイル寮)があり、全生徒が4つの寮に分かれ、規律を守りながら、快適で楽しい全寮生活を送っています



#### ●食事前のお祈り

食事の席に着くと、今日の糧に感謝をしてお祈りを捧げます。三育の信仰教育は、身近な場所でも垣間見られます



#### ●食堂でみんなと一緒にいただきます

朝・昼・晩の食事は、食堂で全校生徒と一緒に採ります。メニューは健康に配慮した「殺菌食」を採用。バイキング形式で、お腹と相談しながら美味しくいただきます



### 休憩時間 Break





# Time Schedule

7:00	
8:00	8:10 SHR 1時限目
9:00	9:00 9:10 2時限目
10:00	10:00 10:10 3時限目
11:00	11:00 11:10 4時限目
12:00	12:00 ランチタイム
13:00	13:10 5時限目
14:00	14:00 14:10 6時限目
15:00	15:00 15:10 7時限目
16:00	16:00 16:10
17:00	17:00
18:00	
19:00	



### ●3時間目 / 高2C / 聖書

お祈りから始まる聖書の授業。リビングバイブルを手に黙示録5章9節を解説する田淵裕先生の話聞きながら、生徒は自身の生き方を問いかけているようです



チャンスを与えた！  
サタンも愛の対象だから！

### ●4時間目 / 高1B / 聖書

「罪の出発点」「天における戦い」「キリストとシメオン」などを解説する東清志先生。なぜサタンは滅ぼされなかったのか？を、みんなで考え、発表します



### ●夜間 / 全中学生・全高校生 / ベスパー

金曜日の夜7時から礼拝(ベスパー)です。高校生は20の小グループに分かれ、「ヤコブの手紙から学ぶ」について、自分の出来事に照らし合わせながら一人ひとりが発表しました

### 5・6・7時間目 全高校生 労作

#### ●5・6・7時間目 / 全高校生 / 労作

毎週日曜日と金曜日の午後合わせて5時間が労作です。アート部・農業部・木工部・キャンパス部・理科部・校内清掃部・鉄工部・宗教部・ベーカリー部などに分かれて、勤労の喜びを体験します



### ●4時間目 / 高3選択 / ワープロ

ワープロが苦手な若者が増えているそうです。パソコン画面に向かって真剣に文字を打ち込む2人の生徒を、橋本晃先生は優しく見守ります



### ●4時間目 / 高2C(国際) / 英語聖書

日本語禁止。マソン先生のネイティブ英語を理解する、国際英語コースの生徒たちの英語力には驚きです！



圧力を加えるんだよね

### ●4時間目 / 高2C(数理) / 化学

実験をしながら「温度と体積の関係はシャルルの法則だね」と解説する北林真先生。みんな実験が大好きです



じゃあ、ポイルは？



早く食べたいよなあ

### ●3・4時間目 / 高3選択 / 総合家庭

渡部美和子先生の指導で、「タコライス」「和風ベネルスク」「炭酸フロート風」を作って食べます。テキパキと楽しそうに作業を進める生徒たち



最高においしい！

盛り付けも大事です



### ●3時間目 / 高2(国際) / コミュニケーション英語

「What happened next...」マリン幹子先生は流暢な英語と詳細な解説でテキストを読み進めます。留学を控えた生徒たちは楽しく学んでいました



世界の姿は複雑だなあ

はい。国と国の境です！！

### ●3時間目 / 中1 / 社会

「国境の決まり方には2つのルールがあるよ」と山本高嗣先生。国境や植民地だった国と宗主国について学びました



抵抗を流れる電流？

うん。よく分かる！

### ●3時間目 / 中2 / 理科

水谷文彦先生の授業はプロジェクターが大活躍。電流とオームの法則の詳細な解説に、生徒たちは何度もうなずいていました

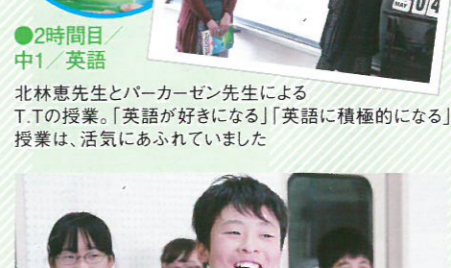


### ●2時間目 / 中1 / 英語

北林恵先生とパーカーセン先生によるT.Tの授業。「英語が好きになる」「英語に積極的になる」授業は、活気にあふれていました



「はいー」は英語じゃ「ないんだわ(笑)」



### ●2時間目 / 中2 / 音楽

「ぼうずが びょうぶに じょうぶに」をテンポを速めながら繰り返し練習。「では、ハレルヤを歌うよ」と、小坂優先生のピアノ伴奏で、みんな元気に歌いました！



もう一回歌ってみよう！！



### ●2時間目 / 高3C / 国語

森山元気先生は、評論文「からだで味わう動物 情報を味わう人間」を、段落を追いつながりながら解説します。「『味わう』という点で、人間と動物にどのような違いがあるか」、興味深い内容でした



おいしくていいよわ



### ●2時間目 / 高1B / 数学

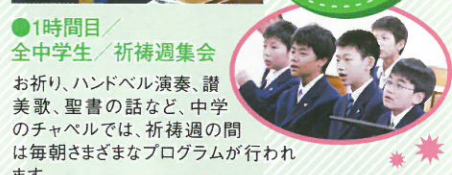
「最高得点のグループは前に出て撮影してもらいましょう」と天野博民先生。「数の範囲と四則計算」の問題をグループに分かれて競い合いました



## 授業 School Lessons

### ●1時間目 / 全中学生 / 祈禱週集会

お祈り、ハンドベル演奏、讃美歌、聖書の話など、中学のチャペルでは、祈禱週の間は毎朝さまざまなプログラムが行われます



### ●1時間目 / 高1B / 国語総合

筆者の体験を書かれているのはどこな？と安藤諒子先生。齋藤孝の「人生は動詞で変わる」を読み解いていきます



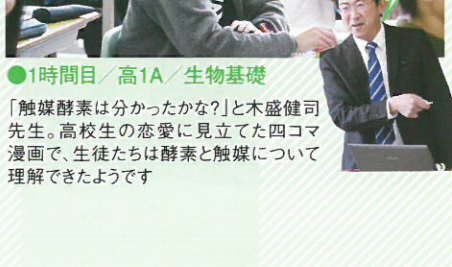
### ●1時間目 / 高2(数理) / 数学

数理コースの少人数授業を担当するのは、笑顔の優しい天野博民先生。生徒に考えさせる、発表させる授業で、生徒たちはめきめき学力をつけていきます



### ●1時間目 / 高1A / 生物基礎

「触媒酵素は分かったかな？」と木盛健司先生。高校生の恋愛に見立てた四コマ漫画で、生徒たちは酵素と触媒について理解できたようです



お互い好意を持っていたよ、言えないんだよね

Aくんに同情するなあ

大学受験が控えているから

これでいいはず！！

そうだね、いいよ

行動と変えることが！

今の自分を変えるには...





**北林 聡 副校長・高校教頭**  
母校で、生徒達と学校づくりに励むことが  
でき幸いです

**田淵 裕 校長**  
三育教育を通して、思いやりに満ち溢れる  
人材を世に送り出したい

**木盛 健司 中学教頭**  
大切なお子様だからこそ、信頼できる環境、寮  
生活を通して、親離れ、子離れしてみませんか

**北林 真 副教頭**  
徒の内にあるかけがえのない宝。輝かせ  
てみませんか？

SCHOOL PROFILE	
生徒数	中学生 / 55名 高等学校 / 176名 (男子生徒 / 116名 女子生徒 / 115名) 合計231名
中1	総人数17名(17名×1クラス)
高1	総人数62名 総合文理コース37名 数理科学コース11名 国際英語コース14名
教員数	中高計53名(男性35名・女性18名 内、ネイティブ2名)
登校時刻	7時50分
系列校	三育学院大学・三育学院短期大学 全国に10の三育小あり 北浦三育中学校・沖縄三育中学校
住所	〒729-1493 広島県三原市大和町下徳良296-2
電話	(0847) 33-0311
交通	山陽自動車道 河内ICから車で約30分 JR山陽本線 河内駅から車で約20分 広島国際空港から車で約20分
URL	http://www.hiroshimasaniku.net/
E-mail	info@san-iku.net

**校章の由来**

緑取りの三角は知徳体の円満な発達を、中心の十字架はキリスト教主義の教育理念をあらわしている。

**School Map**

**教育理念**

真の教育は、人間の知徳体に関係があり、  
また人間の可能な限りの生存期間にわたって関係がある。  
それは知徳体の能力の円満な発達を意味している。

**School Best 3**

- 全家制**  
中学、高校の男女それぞれ計4棟の寮を完備。朝6時起床で始まる規則正しい日課と集団生活の中で、生徒たちは自主自律の精神を体得しています。
- 三育ネットワーク**  
大学・大学院113校、中学・高校7683校。教育理念を同じくする系列校が全世界に点在しています。海外へは進学、海外での活躍も夢ではありません。
- 音楽活動**  
中学、高校でバンドや聖歌隊、ハンドベルクワイアが編成され、全生徒の約7割がこれに参加。クリスマスなどに日本各地に演奏旅行へ出かけしています。

**POINT 1 教科指導**

聖書の教えを土台として、バランスある三育教育を展開する

混沌とした時代の中で明るい未来へ子供たちを導くために、「今こそ三育教育が求められる時」と説くのは田淵裕校長。田淵校長は、三育教育とは21世紀社会に「生きぬく力」を育むための教育であると訴えます。

三育とは、徳育(信仰教育)・知育(知的教育)・体育(健康教育)を意味する言葉。同校ではそのバランスある全人的な三育教育の実践をめざし、独自のカリキュラムで教育活動を行っています。

その中で特色的なものが、聖書の授業と労作の時間。聖書は全教育の基盤で、週3時間、聖書の示す人間観、価値観に従って生きることにすばらしさを教えます。各寮での朝夕礼拝、

土曜日の安息日礼拝など、これからの生き方、考え方の指針として授業以外にも多くの時間を通して学びを深め、真理を探る機会も設けています。カリキュラムに労作を取り入れて、実生活に役立つ学びを通して心身を鍛え、人の役に立つ喜びを体験する健康教育も他校にない特徴。これらは、常に一人の人間の全人格、全生涯を念頭に教育を組み立て、生活の中で教えたいと努めていることの表れです。

知的教育では、受験偏重教育と



●国際英語コースの生徒たちは4カ月間のイギリス留学を通して、語学力の向上だけでなく、物事に対する価値観が広がっていきます

一線を画すバランスある教育を実践。英語教育を中心とする国際化教育に力を注ぎ、高校卒業時には外国人とのコミュニケーションが行える程度の英語力が取得できるように、中学次から習熟度授業を導入。ネイティブを配し、授業や課外活動を通して実践的英語の育成に努めています。高校には、卒業後の海外留学を視野に入れた国際英語コースを設置。英語の時間を最大限確保し、2年次には全員の1学期間留学、1年次には選択留学を組み込むなど、真の国際化教育にふさわしい学びを体得することができます。数理科コースでは、将来数学や理科を用いた仕事で、人々に奉仕することを目指したカリキュラムが用意されており、大切な基礎基本をしっかりと学んでいきます。

**POINT 2 国際化教育**

真の国際教育を効果的に実践し、生徒のグローバルな夢を育む

「英語を媒体に、相違する価値観とどう向き合うかを考えることが大切。異なる価値観と共存できる、グローバルな視野を身につけて」と生徒にエールを送る田淵校長。そのため同校では、真の国際理解を養うための世界規模の教育環境を生徒に提供しています。

毎年、高校生が東南アジアの国々でボランティア活動を行い、他国の人と「共に生きる経験」をしています。生徒たちは過去に、タイ、ベトナム、ネパールなどで井戸掘りやハンセン氏病患者の病棟建設に従事。国際社会に貢献し、幅広い視野と地球人としての生き方を身につけています。

過去、中国と北朝鮮とロシアの国境の町で

健康教育センターの建築を行った女子生徒は「世界のどこにでも共に生きる仲間がいるということを感じていなかったあの国に対しては、はつきりと人の顔を思い浮かべることができるようになった」と語っていました。相互に人種や文化の違いを認め、その違いから新しい発見を得ることができるとの体験は、他では真似できるものではありません。

世界的ネットワークを活用した海外研修、留学も盛ん。三育教育を実践する系列校が全世界にあり、毎年系列校への研修旅行が計画されているほか、高校では成績優秀者への1年間の留学制度、国際英語コースの留学プログラム、系列校からの受け入れなどを実施しています。

1学期間の留学体験をした国際英語コースの生徒は、「英語力を得るためだけのものではない。素直に自分を主張できる人間にな

れた。アメリカの大学へ行き、そこで医者になりたい」と、三育ネットワークを生かした将来の夢を生きて語るなど、彼らの進路希望には明確な目的意識が見られます。同校ならではの地球サイズで将来への具体的な夢が育める環境は、彼らの努力を生み出す大きなエネルギーにもなっているようです。



●三育教育のネットワークは全世界に広がっていて、毎年高校卒業時には大学へ海外留学をする生徒がいます

**POINT 3 特別教育活動**

動労、音楽活動や健康教育を通じ、奉仕の精神と実践力を育成する

広島三育学院では、実践教育として労作をカリキュラムに取り入れています。これは、労働や作業などの身体的活動を通して人間形成を図ろうとする勤労学習のこと。心身を働かせて仕事に励むことで、勤労、奉仕の精神や意思力、忍耐力を身につけさせ



●労作：自分の手仕事に誰かの役に立つ。その思いのもとに生徒は自分の存在価値を見出し、その喜びの中に奉仕の心を培っていきます

ようと、20種類を超えるプログラムを用意。生徒たちは週5時間、それぞれが担当する労作に汗を流しています。

土にふれることや収穫の喜びを体験する農業部、学校環境の美化に取り組むキャンパス部、校舎の修理、営繕などを行う管理部、木工部、鉄工部、食堂に出す天然酵母パンなどを作るベーカリー部など。すべての労作に意味があり、自らの手仕事で学校や寮生活に生かされることを知る生徒たちは、他者のために善行を実践する意識をもって主体的に労作に取り組んでいます。労作には考え工夫する喜びも伴い、多くの保護者が芝刈りや大工仕事をこなし、料理や洗濯を嫌がらなくなった生徒たちの変化に目を見張るといいます。

中学生による老人ホーム訪問や点字翻訳活動、高校生による福祉施設訪問、独居老人宅草刈りなど、生徒たちはボランティア活動にも積極参加。多様な活動を通してキリスト

教精神の実践を体験していきます。讃美歌を中心とした音楽活動にも力を注ぎ、全生徒の約7割が音楽活動に参加。聖歌隊やブラスバンドは毎年、近隣のチャリティーコンサートや国内各地で演奏旅行を行い、賛美、奉仕する心を培っています。

殺菜食のメニューを取り入れた、正しい食生活の実践も特色のひとつ。生徒たちは健全な生活習慣の中で健康な身体を育成し、一連の活動によって自主的な奉仕の精神と実践力を身につけているのです。



**SCHOOL EVENT**

**2月** 修養会

高2、3学期実施の修学旅行。日中はスキー講習、夜は最高学年へむけてのディスカッション、レクリエーションなど

**12月** チャリティーコンサート

音楽活動の一環として、クリスマスに合わせて聖歌隊などが美しい歌声を披露します

**10月** マラソン大会

20年来的伝統行事。競うのではなく完走することが目的で、中学生が10kmの長い道のりに挑む

**9月** 体育祭

イベントの企画、実行などすべてを生徒全体で行い、当日は生徒たちの個性が大爆発!

**7月** 夏祭り

初夏の納涼行事。校内のロータリー周辺に生徒たちによる模擬店、屋台などがズラリ

**4月** 球技大会

生徒会主催の新入生歓迎プログラムで、スポーツを通して親睦が深まる一日です





●男女バスケットボール部



●高校サッカー部



●野外活動部



●中高合同聖歌隊・クリスマスチャリティコンサート



●乗馬部



●ハンドベルクワイア演奏会

## クラブ活動

# 広島三育学院中学校・高等学校

最も歴史のあるクラブ活動は中高共にある「聖歌隊」です。単に「歌う」のではなく神への賛美を目的としており、技術だけでなくそのスピリットも指導されています。

同様の目的でグループを編成しているのが中高のハンドベルクワイアです。聖歌隊、ハンドベル共に礼拝での讃美や近隣施設の訪問、そしてクリスマスシーズンには県内外に演奏旅行に出かけます。キリスト教主義の学校ならではのサークル活動として平均5、6人が集まる聖書研究会があげられます。主に高等学校に存在する小さなグループですがその数は10以上あり定期的に聖書の学びをしております。

数年前までは劳作教育の一環として行われていましたが現在はサークルの位置づけで活動している「製パンサークル」があります。天然酵母から仕込み、校内の食堂で食べるパンを焼いています。中学校には野外での活動を楽しむ「野外活動部」があります。2年がかりで「ピザ窯」を完成させました。

最後に「人形劇部」です。本校が広島に移転した当時から高校で続けられているクラブ活動です。主に聖書のストーリーをアレンジした作品で、県内外の施設を訪問して公演しています。その他、スポーツクラブも活発に活動しています。

## 「生き方指導」に基づく個性的なクラブ活動

## 三育の人間教育



三育学院では、生徒がさまざまなボランティア活動に参加してキリスト教精神の実践を体験しています。中学生は社会福祉施設訪問などの活動を行い、高校生は自主活動の一貫として福祉施設訪問、独居老人宅草刈りなどの奉仕活動を実施。さらに、高校生の希望者は夏休みを利用し、東南アジアの国々で学校建設や水道工事などに従事し、他国の人と「共に生きる」体験をしています。また、音楽活動に参加する生徒たちはチャリティコンサートや国内各地の演奏旅行で賛美する心、奉仕する心を養っているほか、実践教育としての勤労体験がカリキュラムに組み込まれ、生徒たちは奉仕できる身体と精神を育てています。

## 三育の面倒見のよさ



全寮制のミッションスクールであり、一人ひとりが神から愛されている存在であることを念頭に置き、教職員一人に対し生徒3名の比率で生徒一人ひとりを大切にする教育を行っています。同校の特色となる寮生活で、24時間生徒と寝食をともにしながら、悩みや問題を抱える生徒たちと教師が同じ目線で考え続けています。10代の子どもたちが抱えている思春期特有の問題に対して、規則正しい生活習慣のもとで自ら思考し行動できるようにも指導しています。また、スクールカウンセラーがキャンパスに24時間常駐して、悩みを抱える生徒のための心のケアを行っています。

## 三育の人間関係



キャンパス内には、北海道から沖縄まで全国各地に加えて、10カ国以上の国籍の生徒たちが集まり、健全な寮生活を送っています。生徒たちは寝食をともにすることで互いに豊かな人間関係を築き、親代わりとなる先生とも深い絆を培っています。

## 三育の国際教育



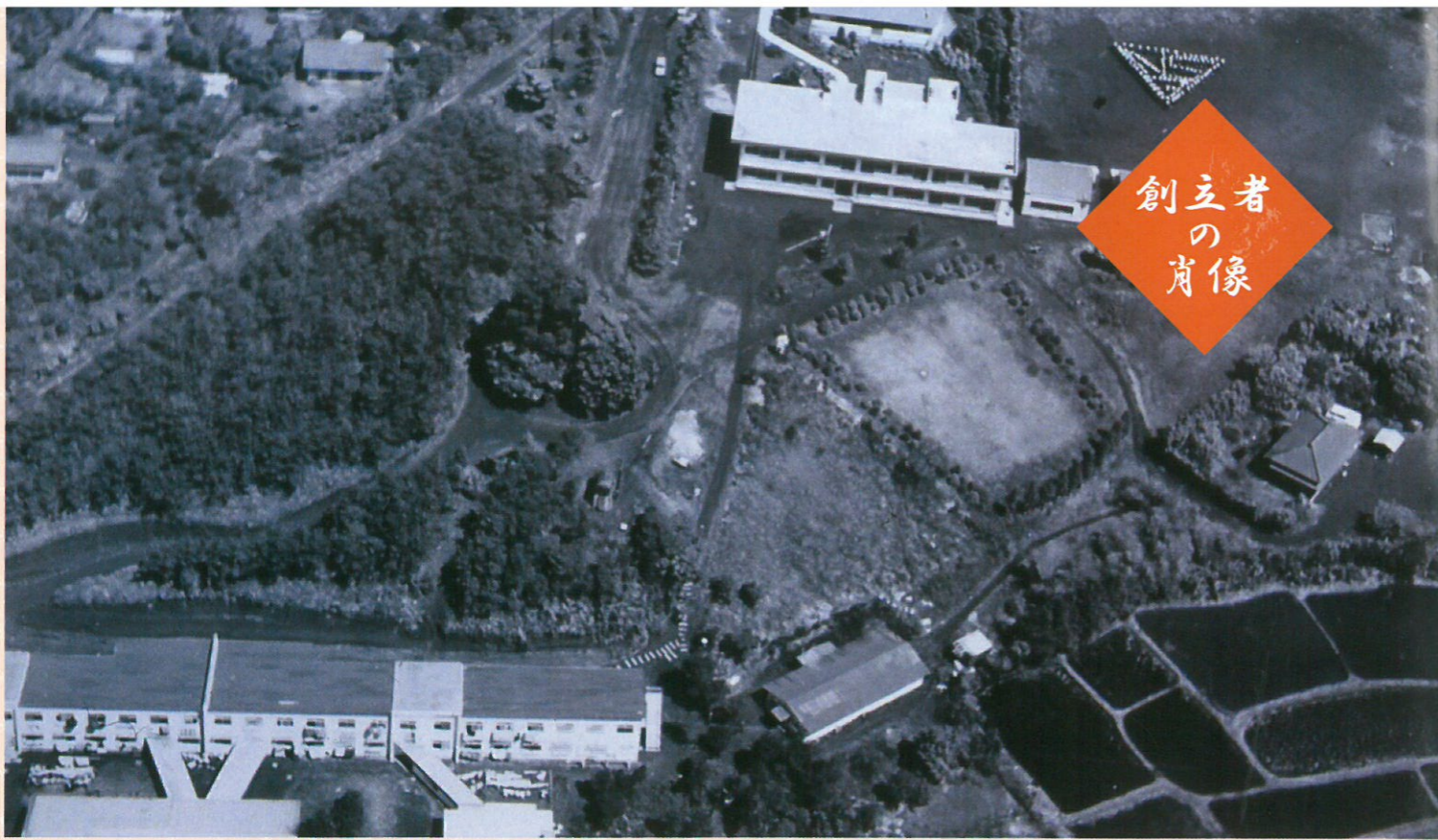
国際英語コースでは、2年次2学期に約4か月間のイギリス留学を実施。高校生の希望者は夏休みを利用して、SDA教会の青年海外協力隊として、東南アジアの国々で教会建設などのボランティアに従事しています。また、ニュージーランドへの短期留学も行なっています。

## 三育の英語教育



中学校では発話中心の課題を多く取り入れ、実践的英語力を完成するのが目標。外国人教師がともに生活しているのが大きな強みで、チームティーチングも活発です。高校では卒業時にTOEFL550点、GTECCBTでは1190点がひとつの目標。これをクリアできるだけのカリキュラムを備えているのが、国際英語コース。2年次には約4か月間をイギリスの高校で学ぶなど、真の国際人としての資質を磨きます。外国人教師による個人指導など学習指導も徹底しています。夏は海外の系列校を利用して語学研修も行われ、希望者が参加します。





## 創立者の肖像

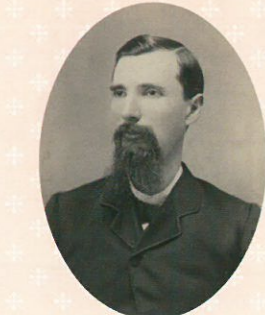
広島移転前の旧日本三育学院中学校

# 日本三育学院中学高等学校

「あなたは、同胞を愛しますか」  
 広島三育学院のルーツは、1896年11月19日に横浜へ宣教師として上陸したウィリアム・C・グレンジャーの働きにまで遡ります。米国のヒルズバーグ大学（現在のパシフィック・ユニオン・カレッジ）の学長を務めていたグレンジャーは、日本からの留学生として彼の大学で学んでいた大河平輝彦（おこひらてるひこ）の母国伝道への熱意の表明と有力な指導者が与えられるようにという訴えに心酔して、学長の職を辞して日本へ渡ることを選択したのでした。

1898年（明治31年）に東京芝で「芝和英聖書学校」を開校しました。苦しい中ではありましたが、英語聖書研究会に集まる青年、学生たちは徐々に増えていきました。この学校が、現在の三育学院の礎を築く事となりました。

しかし、グレンジャーは、翌年病に倒れそのまま日本で亡くなることとなります。臨終の



W.C. グレンジャー

直前に後進の指導者に「Do you love your fellow men?」「あなたは同胞を愛しますか。」と問うたのです。それに対して「はい、愛します。」と力強く答えた青年に「私は日本に使命を伝えるために来たが、果たさなかった。私は、今世を去ろうとしている。私は信仰の道を守った。あなたがたも忠実であってほしい。そして、天において再会しよう。」という言葉を残して永眠しました。

その後、その遺志を継いだこの学校は、1919年東京天沼に「天沼学院」を開校し、小学、中学、高等部を併設しました。1926年にさらに良い環境を求めて千葉県袖ヶ浦に日本三育学院を開校するに至りました。そこで52年の歴史を刻んだ日本三育学院は、大学と中等教育機関が、分割移転を行うこととなり、1977年に広島県三原市大和町に広島三育学院高等学校・中学校・大和小学校を開校し、現在に至っています。



伊東 小都子さん(2006年度卒業生)

## 鹿児島大学医学部医学科卒業

PROFILE 鹿児島三育小学校卒業、  
 広島三育学院中学校・高等学校卒業、  
 鹿児島大学医学部医学科卒業、  
 現在は鹿児島にて医師（耳鼻科医）として活躍中。

## 私の支えになっている三育での思い出

私は小学校の途中から鹿児島三育小学校、中学・高校は広島で三育生活を送りました。卒業してから約10年経った今でも自分の軸を作ってもらった学生時代だと思っています。親友と呼べる友人たちや、信頼できる先生方の出会いは私の人生の財産であり、共に過ごした時間はかけがえのないもので、今でも私の心の支えになっています。

私は高校卒業後に2年間浪人をして医学部に入学し、現在は耳鼻科医として働いています。高校時代の経験や思い出は色々な場面で私を支え、迷った時にいつも私に道を示してくれる灯火でした。三育で学んだ事はたくさんありますが、人と関わる大切さと、悩んだ時の自分自身との向き合い方は特に大きいものです。

そして、悩んだ時の自分自身との向き合い方。本当に充実して楽しかった学生時代だったけれど、多感な時期でやはり悩むことはありました。高校の時、きっかけは覚えていないけれど、自分でもどうしようもないくらい辛かったことがありました。初めて両親に家に帰らなと泣き、授業も何もかもやる気にならず、でも友達には必死に普段通りを装って見せました。見かねた両親が寮まで迎えに来て時、先生は何も聞かずに「ゆっくりにおいで」と送り出してくれました。普段通りを装っていたつもりだったのに、先生はそんな私に気づいて、ゆっくりに考え、悩む時間をくれたのでした。その後どうにか情けない自分と向き合う覚悟をして、寮に戻った後、先生が「わかるよ、そうなんだよなあ。俺もそんな時があったよ。」と言いなが話を聞いてくれた時に凄く救われたのを覚えています。悩んでいる自分がなんだか情けなくて、逃げ出してしまいたい気持ちだったけれど、先生は私を焦らせることなく、ちゃんと向き合う時間をくれて、話を聞いて受容してくれた。こんな自分を肯定してくれた。この思い出が、その後も悩んだり、つまずいたりした時の自分を支えてくれます。悩んだ時に逃げ出さずに自分と向き合う勇気をくれました。祈ることで自分と、自分の中の神様と対話する時間を大切にできるようにしました。

先日、10年ぶりに広島三育のキャンパスを訪ねました。何も言えない懐かしさと嬉しさがこみ上げてきて、「こは私の第2の故郷だな」と改めて感じました。本当に感謝しています。

# 広島三育学院中学校・高等学校



譜久島 彰さん(2016年度卒業生)

## 東京藝術大学音楽学部器楽科古楽専攻2年

PROFILE 茨城県行方市立三和小学校卒業、  
 沖縄三育中学校卒業、  
 広島三育学院高等学校卒業

## 「三育で得たもの」

私は、中高と6年間三育で学びました。三育では、労作や農業の時間があり、食堂では肉や魚が食べられ、寮生活で朝夕の礼拝が毎日ある等、世間一般から考えれば随分変わった学校生活を送りました。しかし、その変わった学校生活の中で、人生の道で大切なことをたくさん学ぶことができました。「自分より他人のために行動する」という事がその中にあります。これは三育特有の毎日の聖書の学びで得た教訓ですが、それを私の心に深く刻み込んだのは、聖書の教えを実践する先生方の姿でした。

音楽の先生は、私が音楽を学びたいと言いついた高校1年の冬から、目標にしていた今の大学に合格するまで、自分の時間を削って毎日のように、長い時には数時間に渡ってレッスンをして下さいました。合格の報告をした時には自分の事のように喜んで下さいました。食堂の先生は、毎朝早くから、おいしく健康な食事を作ってくれ、食堂に来ていない生徒や、食欲のない生徒がいればすぐに気づき、心配して体に良い飲み物を作ってくださいました。台風で停電した日は朝3時から、懐中電灯の明かりで野菜を切って下さっていたそうです。農業部の先

生には、野菜の育て方を学び、共に働き、収穫する喜びを味わいました。舎監の先生は、朝早くから勉強している生徒のため、自分も早起きし教えて下さり、また時には手回りの差し入れを下さいました。教師先生はいつでも悩んでいる人の相談に乗る、共に泣き、祈り、喜んで下さいました。書き出せばきりがありませんが、このように自分を犠牲にして他人のために働く先生の姿を目の当たりにして、聖書の教えを実践して生きる喜びを知り、私もこのような人になりたいと思うようになりました。

数年前までは、聖書を学び、労作をし、寮生活で友人と24時間一緒にいる環境で生活しながら、変わった学校だと思っていました。三育を離れて世間の大学生として生活している今、その思いは確信へと変わり、本当に変わった学校だったとつくづく思っています。しかし同時に、他では得られない大切なものを得る事ができた、私は確信しています。三育での聖書の学び、寮生活を通して学んだ人間関係、労作教育で身をもって知った働く事の大変さと達成感、全ての経験が、今の大学生活に活かされています。これからの人生の道において助けになると思います。三育で学んだ事は一生の財産であり、誇りです。

広島三育学院は、広島に

移ってから38年目となりますが、日本三育学院開校から数え

ると89年の歴史を刻む学校であり、天沼学院から数えれば、

96年、芝和英聖書学校から数えるならば、今年で117年目という歴史を有する学校であると言えるのです。





●人間らしい善い人生、心を感じさせる美しいもの、そして真実を知る喜びに満たされて生きる人生の楽しさを味わって欲しいというのが、制服の色と形にこめられています。



●中学生全員が持っている聖書に関するテキストで、一人一人が時間を見つけて日々の学びに励んでいます。



## 制服物語

# 広島三育学院 中学校・高等学校

●聖書は、本校生徒にとってはなくてはならないもので、中学高校の全校生徒が持っていて、学校生活の中心となっています。



## 制服秘話

School uniform secret story



本校の制服は、スクールカラーである緑と青を基調としたスタイルです。私たちの「三育教育」はキリスト教の教えを中心に据えていて、「心を尽くし、思いを尽くし、精神を尽くして神を愛し、人を愛せ」という言葉にあるように、相手のことを心から思いやることを大切にしています。制服のデザインにも、こうした思いが込められています。

また、中学校には夏服・冬服がありますが、高等学校での着用を義務づけていないのは式典服としての性格を強くしています。したがって毎日の授業では制服の着用を義務づけていません。これは、30年以上前に教師と生徒との制服着用についての話し合いの結果として、授業時の服装についてはTPOにあったものを各自の考えの中で選び、着用することを基本としたことによります。この伝統は現在も引き継がれています。